

# MGU Chapel Letter

—第 47 号 2025 年 3 月 22 日— 発行：大学宗教センター

\* 2024 年度 年間聖句 \*

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、  
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書 第 7 章 12 節



## 2025 年度の年次聖句が 決まりました！

宮城学院の 2025 年度の年次聖句は、旧約聖書の詩編 119 編 105 節です。

あなたの御言葉は、わたしの道の光  
わたしの歩みを照らす灯（ともしび）。

「あなたの御言葉」とは聖書の言葉のことです。なぜそれが自分の「道の光」になるのか。「歩みを照らす」とは、具体的にどのようなことを指すのか。自分なりの答えを探しながら、この 1 年を過ごして行きましょう。

## 新年度の礼拝は 4 月 18 日から

4 月から昼の大学礼拝が始まります。前期は 4 月 18 日から 7 月 25 日まで計 38 回を予定しています。第 1 回目となる 18 日はイエス・キリストが十字架にかかれた聖金曜日、それに続く 20 日日曜はイースター（復活祭）です。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : [christ-c@mg.ac.jp](mailto:christ-c@mg.ac.jp)

## ✦ 明日のことは ✦



3月は、学生にとって不安な季節かも知れません。卒業する4年生は、社会人となる日を目前に控えているので緊張します。4年生になる現3年生は、「学生生活もあと1年か〜」とブルーになってしまいますね。現2年生も、「次の1年で、将来の進路を絞って行かなくちゃ」という焦りにかられるでしょう。現1年生の中には、「もう1年が過ぎちゃった。これから勉強も難しくなるし大丈夫かな」と心配している人も多いのではないのでしょうか。考え過ぎると、うつ気味になりそうです。

このような時に思い出したいのが、イエスの有名な言葉です。

「だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」（マタイによる福音書6章34節）

これは別に、「将来のことは考えず、気楽に生きよう」と無責任なことを言っているわけではありません。もっと深いことを私たちに示してくれます。

私たちが抱える「思い悩み」の根底には、「失敗したらどうしよう」という不安があることが多いです。そんな私たちに向かって聖書は、「あなたは神に愛された、大切な価値ある存在だ。たとえ失敗することがあっても、その価値は決して変わらないよ」と語りかけてくれます。この前提があるからこそ、私たちは積極的にチャレンジすることが出来るし、失敗しても再びやり直せるのですね。これは、不安に押しつぶされないための大きな励ましになります。

ここでイエスが「明日のこと」と言ってくれているのは、なにげに嬉しいことです。今日のことを心配するのは、人間だから当然だ。今日すべきことはしなくてははいけない。しかし、明日のことは明日全力で向き合いなさい、と区別してくれるからです。

考えてみたら、私たちはいつも先のことばかり考えて疲れてしまうことが多いです。高校に入れば「大学に入れるか」と心配になり、大学に入ったら「就活はどうなる」と気になります。就職したら「キャリアは大丈夫か」が頭にのしかかり、キャリアを積みば今度は老後が不安です。老後になれば、「終活は？」と悩むでしょう。先々のことを考えて計画することは重要ですが、これだけでは、「一度も『今』に生きていたことが無かった」ということにならないのでしょうか。

不安は不安。でも気持ちを切り替えて「今」を精一杯味わう。それも人生を生きる力の1つとなるでしょう。大学生活の中で、そのような力を身につけたいです。（栗）